



# だっこするよ

令和元年6月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子

大津の事故からの思うこと

連日30度を越える暑さが続き、今年の夏は平年通りということですが、今年の酷暑を思い出してしまいます。水分補給をこまめに行い、安全に過ごせるように配慮していきます。園庭ではシャワーの雨を降らせて、その下に集まったり、くぐったりして遊んでいます。「水」に親しむ季節になりました。「水」は身近で、冷たくて、溶け合う性格をもち、泥と混ぜてカフェオレを作って容器に入れては出してと目をキラキラさせて遊んでいます。本格的な水遊びや泥遊びは、これからですが、熱中症計やお子さんの体調を見て判断し行っています。汚れても良い服装で登園してくださいね。

入園、進級して2ヶ月が過ぎ、それぞれに毎日新しい出来事に会い、新しいことを学んで、友達や大人と関り合って自立へと向かっています。一番若い0歳・1歳組もそうです。じ〜と考えながら…自分の席に座り、手洗いや着替えを一緒にしてくれる協働者です。意思をもち欲求を自由に表現してくれます。自己選択の人生だからこそ「あなたが決めるよ」「どっちがいい？」と対話しながら進めています。幼児組もこども同士、大人とこども、対話をしながら自分たちで遊びの世界を創っています。遊びに行くと創造した作品が部屋から溢れ出ています。自分で選ぶ「自由」から大人から認められた「安心」へ、そして僕なら私なら大丈夫「自信」へと自己肯定感を積んでいるところです。

大津で散歩の園児の列に衝突した車が突っ込み、園児が亡くなるという痛ましい事故が起きました。小さな生命が巻き添えになる事故が連日報道されています。交通ルールを守っていても、不慮の事故に遭うことは避けられない時代になりました。うちの子だったらと胸が痛くなりました。朝「行って来ます」と出かけて夕方に「お帰り」と家族に会えるのはもう奇跡かもしれません。そんな時代だからこそ保護者と保育者が共にそのことを理解して、今日の一日も笑顔で悔いのないよう、こどもにとって最善の利益となる保育をしようと思えます。園では、自分で歩いて健康・体力を育くむ「歩育」を行っています。こどもの心身の状況を踏まえ、行き先や目的を伝え、人数確認、危険箇所、不審者対応、応急手当、マニュアルを元に、安全確認を行いながら活動していきます。それは、戸外活動は、自然への畏敬の念や不思議さに出会うこと、地域社会の人や事象に触れ合う等乳幼児にとってその意義は大きいからです。身近な環境に触れ「周りの世界」を知り、見方、考え方、かかわり方を学び、体験から生きる知識や知恵を獲得しています。教育の目的は、こどもたちに次世代を担うことを知らせることだと汐見俊幸氏は話されました。幼児教育の保育園で何を経験させていくのか？どんな力を育てたいのか？教育は、私利私欲が目的ではない。地球規模の「こんな社会をつくっていこう」と「その為にこんな力をこどもにつけよう」と世界へ目を向けさせて、誰もこぼさない平和を築ける人にと。21世紀を背負うこどもたちへ環境を守れる人へ、他者と対話できる子を育てていきたいと思えます。保育は哲学だとこの頃感じます。私たちも学び続けていきます。

さあ、梅雨、曇りも雨も楽しみたい！合羽でいつもの公園を散歩したらどんなだろうと計画中です。幼児組は、保育参加お待ちしております。

※写真は、毎年遊びに出かける赤羽自然観察公園の田んぼ遊びです。

ボランティアサークルいなほクラブさんにお世話になりました。